

第111期 事業のご報告

株主通信

2020年4月1日～2021年3月31日

株式会社 椿本チエイン

証券コード | 6371



社会課題の解決と自らの成長の両立を目指し、「中期経営計画2025」に取り組みます。

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、および感染拡大により困難な生活環境にいらっしゃる皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

2020年度の連結業績について

2020年度の連結業績は、売上高1,933億円、営業利益88億円(営業利益率4.6%)となりました。

新型コロナウイルス感染症の流行により世界規模で減速した景気は、下半期以降は回復傾向となったものの、上半期での落ち込みをカバーするには至らず、前年度比14.6%の減収となりました。

営業利益についても、減収に伴い売上総利益が減少したことなどにより、前年度比44.9%の減益となりました。

連結業績ハイライト

売上高	1,933 億円	前年度比 14.6% ↓
営業利益	88 億円	前年度比 44.9% ↓
親会社株主に 帰属する 当期純利益	87 億円	前年度比 24.8% ↓
1株当たり 配当金	75 円	前年度比 37.5% ↓

2021年度の連結業績予想について

2021年度は、新型コロナウイルスの感染拡大が続き先行きの不透明感こそ残りますが、世界景気は概ね回復基調で推移すると予想しております。このことから、通期連結業績予想を以下のとおりいたしました。

売上高: 2,250億円(前年度比16.3%増)、営業利益: 160億円(同79.8%増)。

新経営体制について

本年6月29日の株主総会ならびにその後の取締役会決議を経て、大原靖が代表取締役会長兼CEO*に、古世憲二が代表取締役社長兼COO*に就任いたしました。

当社グループは新体制のもと、本年度よりスタートさせた「中期経営計画2025」で策定した戦略を着実に実行することで企業価値の向上に邁進していく所存です。また、「Linked Automation(高機能化と高度オートメーション化された技術領域)」により、社会課題の解決と自らの成長の両立を目指してまいりますので、株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

* CEO: Chief Executive Officer(最高経営責任者)
COO: Chief Operations Officer(最高執行責任者)



代表取締役会長
兼CEO
大原 靖

代表取締役社長
兼COO
古世 憲二



埼玉工場 [所在地: 埼玉県飯能市新光20]

操業開始 敷地面積 従業員数
1962年3月 179,600㎡ 995名



兵庫工場 [所在地: 兵庫県加西市朝妻町1140]

操業開始 敷地面積 従業員数
1982年7月 64,616㎡ 33名



岡山工場 [所在地: 岡山県津山市新野東1515]

操業開始 敷地面積 従業員数
1992年12月 54,954㎡ 52名

モノづくり改革による生産性向上への取組み (自動化 & 工場内レイアウトの最適化)

01

部品管理



数千種類の部品を立体倉庫で一括管理し、先入先出の自動化と部品在庫の適正化を実現しました。

02

部材搬送



組立機で使用する部品は小型化した自動搬送機により供給を行い、省人化とジャストインタイムでの供給を実現しています。

03

自動供給



テンショナボディ材料をロボットとセンシング技術により自動で加工機へ供給します。

「モノづくり工場」変革への取組み

2021年4月、自動車部品事業部からモビリティ事業部に名称を刷新し、業務移管となったAP*クラッチを生産する岡山工場を加え国内3工場生産体制で商品領域の拡張に臨んでいます。中でもグローバルセンターである埼玉工場は、取組んできた「工場の再編」の最終段階「新物流センター」建設が進行しており「新生産管理システム」導入との相乗効果で間接業務の生産性も高めていきます。また新技術を導入し「自動・省人・無人化工程」に向けた製・技一体活動を展開しており、新しいモビリティ商品に柔軟に対応できる人と環境にやさしい新次元の「モノづくり工場」実現を目指していきます。

上席執行役員 モビリティ事業部長 井上 幸三

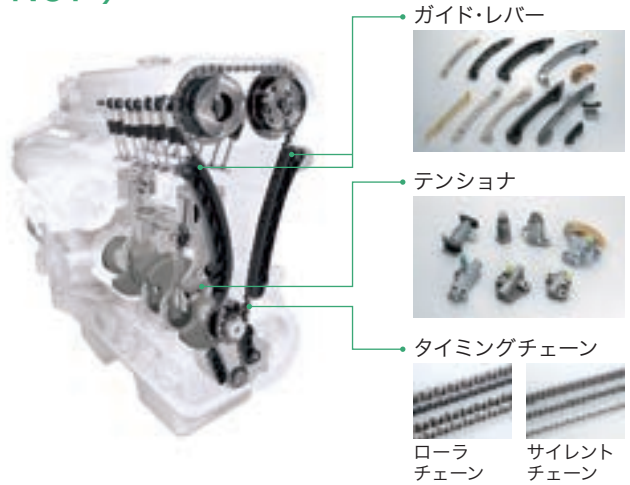


* AP:Auto Parts

日々進化を遂げる環境規制対応車に適合するタイミングチェーンシステムを世界の自動車メーカーに納入(世界シェアNo1*)

半世紀以上にわたり、自動車エンジンの技術進化・環境性能の高度化に対応。常に時代の最先端技術を取込み、顧客・市場ニーズに的確に対応したタイミングチェーンシステムを提供してきました。そのタイミングチェーンシステムは、お客様満足度、品質、シェアともに世界No1を誇ります。今後も進化する環境対応エンジンに向け、先を見据えた一層の開発強化と商品提供を継続し、埼玉工場をマザー工場に世界8カ国12工場生産体制を通じて、世界中のお客様・サステナブル社会の期待に応えていきます。

* お客様満足度、品質、シェアは当社調べ



04

加工・組立・検査



加工～組立は一貫ラインで生産し、省人化、生産性向上を実現しています。部品の組付け、機能・外観チェックを全自動で行い、工程内での品質管理を実現。今後、完全無人化への実現を目指しています。

05

生産進捗モニター



生産ラインの稼働・生産状況は現場や事務所で確認可能。工場稼働の見える化により生産性向上に貢献しています。

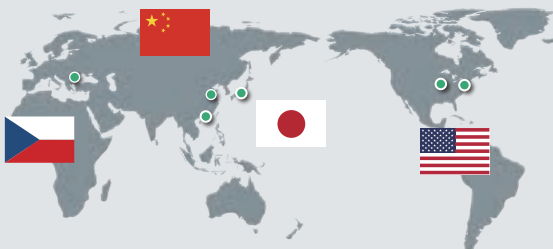
トヨタ自動車株式会社 TNGA 環境性能向上車とグローバル供給体制



欧州
1拠点

アジア
3拠点

米州
2拠点



エンジン概要	直列3/4気筒 1.5～2.5リットル ガソリン
搭載車種	Yaris、RAV4、Camry、Crown 等
特長	「低燃費」「軽量」「省スペース」
つばき採用製品	タイミングチェーンシステム・オイルポンプチェーンシステム

トヨタ自動車(株)のTNGAシリーズは、全世界の環境規制に対応させたワールドエンジンを搭載。2017年の新型カムリを皮切りに、グローバルで搭載車種を拡大しているトヨタ最新モデルです。当事業では、グローバル生産体制を整え、顧客ニーズに適した製品を供給しています。今後も、更なる環境規制に対応した製品を開発し、世界中のお客様・サステナブル社会の期待に応えていきます。

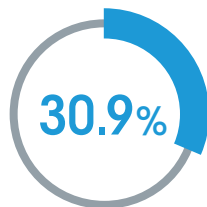


チェーン事業

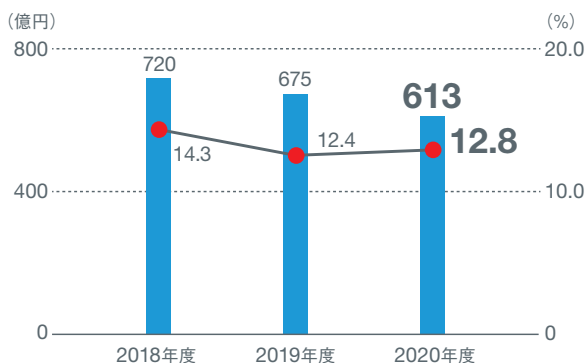
産業用スチールチェーンは
世界シェアNo.1

モノ動くところに「チェーン」あり。国内外のあらゆる産業、用途に応じ、世界シェアNo.1の産業用スチールチェーンをはじめとした約2万種類の豊富なラインアップから最適なチェーンを最高の品質と最短の納期でお届けしています。

セグメント別売上高構成比*1



売上高*2/営業利益率



【主要商品】

ドライブチェーン、コンベヤチェーン、スプロケット、ケーブル・ホース支持案内装置など

シェアは当社調べ



モーションコントロール事業

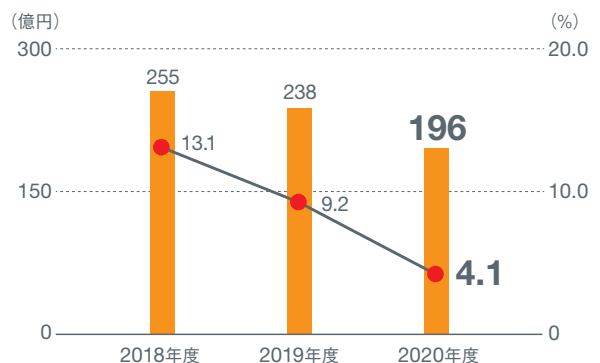
減速機、直線作動機などの
豊富な商品群

「Motion & Control」の分野で、独自の複合化技術と豊富な品揃えを生かし、産業機械の複雑な動きを精密にコントロールするモーションコントロール商品群。エレベータの昇降や立体駐車場、アーケードの屋根開閉、風力発電やスキリフトなど、日常生活のさまざまなシーンでも活躍しています。

セグメント別売上高構成比*1



売上高*2/営業利益率



【主要商品】

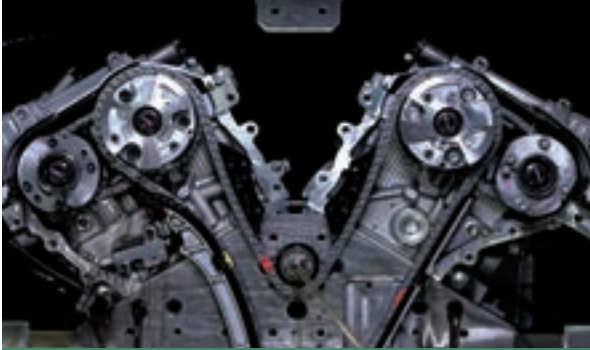
減速機・変速機、直線作動機、軸継手、締結具、クラッチなど

2020年度の概況

チェーン事業につきましては、下半期以降は業績の回復が顕著となったものの、上半期における新型コロナウイルス感染症流行の影響が大きく、日本、米州、欧州などの地域で販売が減少したことなどから、前年度比で減収となりました。モーションコントロール事業につきましても、業績は回復基調で推移したものの、日本、米州、欧州、中国、タイにおいて販売が減少したことなどから、前年度比で減収となりました。

常務執行役員 パワトラ事業統括
永井 康詞





モビリティ事業

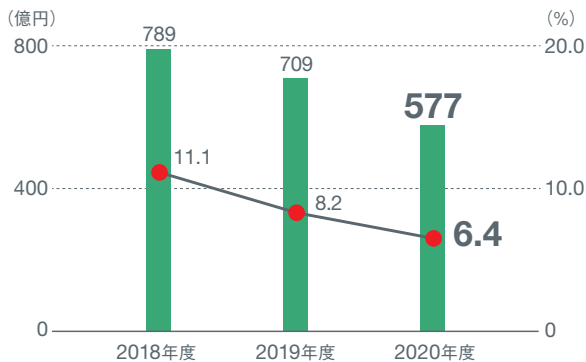
エンジンの高性能化を支える
タイミングチェーンシステム

自動車エンジンの高性能化、エコ化に寄与するタイミングチェーンシステムで、国内68%、世界37%とトップシェア。日本、米国、英国、タイ、中国、韓国、メキシコ、チェコの各拠点から供給されるその品質と技術は、世界の自動車メーカーから高い信頼を獲得しています。

セグメント別売上高構成比*1



売上高*2/営業利益率



【主要商品】

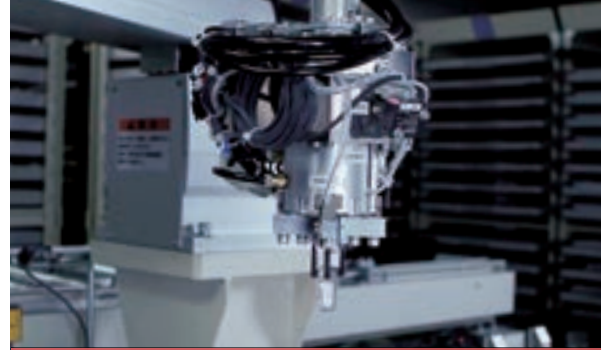
タイミングチェーン、テンショナ、ガイド、レバー、スプロケット、トランスファー用チェーン、APクラッチなど

シェアは当社調べ

2020年度の概況

四半期ごとに業績が回復し、中国においてエンジン用タイミングチェーンシステムの販売が増加したものの、上半期における新型コロナウイルス感染症流行の影響が大きく、日本、米州、欧州、タイ、韓国の拠点において同商品などの販売が減少したことなどから、前年度比で減収となりました。

上席執行役員 モビリティ事業統括
宮地 正樹

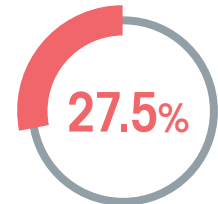


マテハン事業

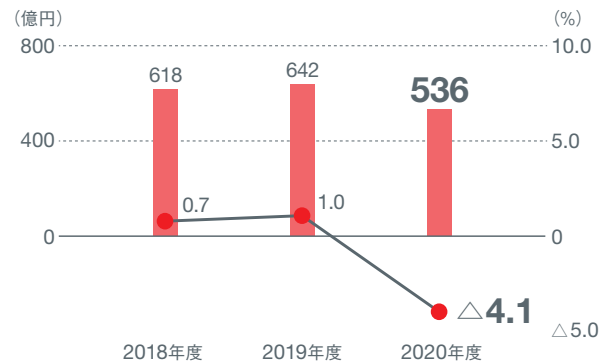
生産性向上に寄与する
ソリューションを提供

物流業界向け自動仕分け装置、ライフサイエンス分野向け超低温自動保管庫のほか、自動車業界向けの車体搬送設備、セメントなどの粉粒体搬送コンベヤや工作機械向けの金属切り屑搬送・クーラント処理装置など、お客様の生産性向上に寄与する高度なソリューションを提供しています。

セグメント別売上高構成比*1



売上高*2/営業利益率



【主要商品】

物流業界向けシステム、自動車業界向けシステム、ライフサイエンス分野向けシステム、粉粒体搬送コンベヤなど

2020年度の概況

日本国内において自動車業界向けシステムの売上が増加しましたが、日本国内における物流業界向けシステムや新聞印刷工場向けシステム、金属切り屑搬送・クーラント処理装置の販売が減少したことなどから、前年度比で減収となりました。

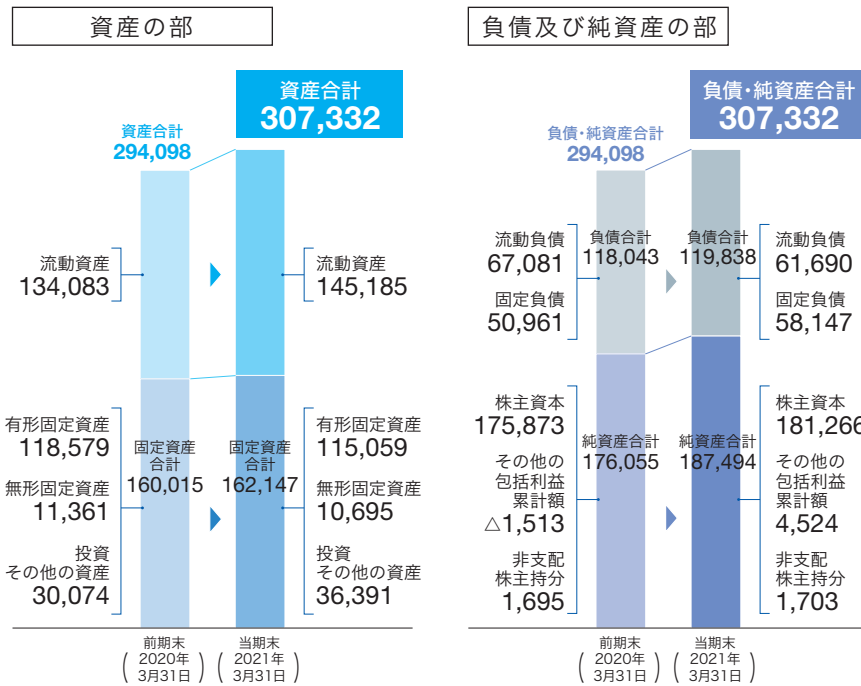
上席執行役員 マテハン事業統括
岡本 雅文



*1 セグメント別売上高構成比は「外部顧客に対する売上高」を基準に算出しています。 *2 売上高には「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

連結貸借対照表の概要

(百万円)



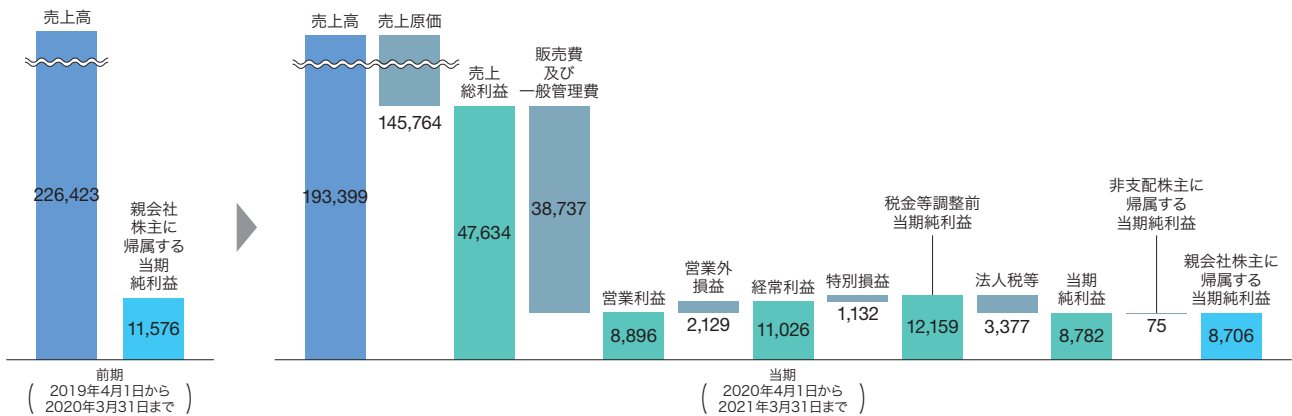
さらに詳しい財務データは、当社ホームページの「IRライブラリ」をご覧ください。

ツバキモト IR 検索

<https://www.tsubakimoto.jp/ir/library/>

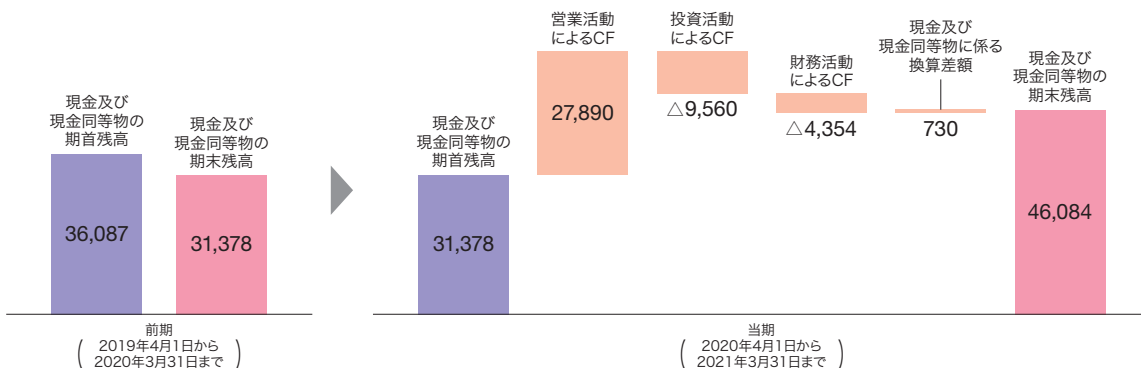
連結損益計算書の概要

(百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



「社員であることに誇りが持てる」企業へと導きます



このたび、代表取締役社長 兼 COOに就任いたしました古世憲二こせけんじです。株主の皆様にご挨拶申し上げます。

2021年度は、つばきグループが新たな一歩を踏み出す年となります。「2030年のつばきのありたい姿」を「高機能化と高度オートメーション化により、社会課題の解決に貢献する企業グループを目指します。」と定め、その実行プランである「中期経営計画2025（2021～25年度）」をスタートさせました。

脱炭素、非接触・非対面の急激な広まりなど外部環境が著しく変化する中、100年を超えるモノづくりで培った基盤を磨き上げながら、変革を恐れず新たな事業領域にもチャレンジし、「人にやさしい社会の実現」「安心・安全な生活基盤の構築」「地球にやさしい社会の創造」という社会課題の解決に取り組むとともに、自らの成長の両立を目指してまいります。

また私は、当社グループを「仕事にやりがいと誇りが持て、社員であることに誇りが持てる。」そんな企業へと導きたいと考えております。

ステークホルダーの皆様への感謝の気持ちと初心を忘れず、基本はぶれずに、愚直にやり抜くという精神のもと邁進してまいりますので、株主の皆様には、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 兼 COO

古世 憲二

【プロフィール】

1977年4月 当社入社
 2013年6月 当社執行役員
 2015年6月 当社上席執行役員
 2017年4月 当社チェーン製造事業部長兼京田辺工場長
 2017年6月 当社取締役上席執行役員
 2018年4月 当社チェーン事業統括
 2018年6月 当社取締役常務執行役員
 2019年6月 当社取締役
 2021年6月 当社代表取締役 取締役社長兼
 最高執行責任者 (COO) (現任)

つばきのサステナビリティ

社会課題解決への貢献に向けて

ESGやSDGs課題を経営に統合する目的で、まず昨年度にCSR側面についてマテリアリティ（重要課題）を特定し、KPI（監視指標）を設定して、環境・社会価値向上活動を開始しました。

一方で、SDGsの各ゴールから、2030年度の社会動向の仮説を立て、バックカスティング思考を取り入れて、長期ビジョン「2030年のつばきのありたい姿」を明文化しました。

また、その長期ビジョン実現のための実行計画として、取り組むべき社会課題とその役割（パーパス）を明確にして、「中期経営計画2025」を策定し公表いたしました。

今後は、グループ一体となって、リスクマネジメントを強化したうえで、既存事業の変革・拡大と、新規分野への挑戦による事業領域の拡大により、持続可能な社会の実現に貢献すると同時に、持続的成長力の強化を目指します。

会社概要

商号 株式会社椿本チエイン
 本店所在地 大阪市北区中之島3丁目3番3号
 設立年月日 1941年(昭和16年)1月31日
 資本金 17,076百万円
 工場 京田辺・埼玉・長岡京・兵庫・岡山
 支社 東京・名古屋・大阪
 営業所 大宮・豊田・大阪北・広島・九州
 関係会社 連結子会社：64社 非連結子会社：8社
 関連会社：9社(うち、持分法適用関連会社1社)
 従業員数 連結8,535名 単体2,902名
 (従業員数には契約社員、パート、アルバイトを含んでおります。)

役員 (2021年6月29日現在)

代表取締役会長兼CEO	大原 靖	上席執行役員	宮地 正樹
代表取締役社長兼COO	古世 憲二	上席執行役員	Kevin Richard Powers
取締役	鈴木 恭	上席執行役員	揚田 利浩
取締役	木村 隆利	上席執行役員	中村 一智
取締役	阿部 修司(※1)	上席執行役員	石田 裕美
取締役	安藤 圭一(※1)	上席執行役員	井上 幸三
取締役	北山 久恵(※1)	執行役員	岡本 雅文
常勤監査役	田中 浩司	執行役員	堺和 伸光
常勤監査役	川崎 加寸也	執行役員	熊倉 功太
監査役	碩 省三(※2)	執行役員	佐藤 丹山
監査役	内藤 秀文(※2)	執行役員	明坂 泰宏
専務執行役員	大槻 忠宏	執行役員	西井 川上
常務執行役員	永井 康詞	執行役員	前田 隆雄
		執行役員	藤村 昌由

(※1)取締役のうち阿部修司氏、安藤圭一氏および北山久恵氏は社外取締役です。
 (※2)監査役のうち碩省三氏および内藤秀文氏は社外監査役です。

株式の状況

発行可能株式総数 59,800,000株
 発行済株式の総数 38,281,393株
 株主数 10,313名

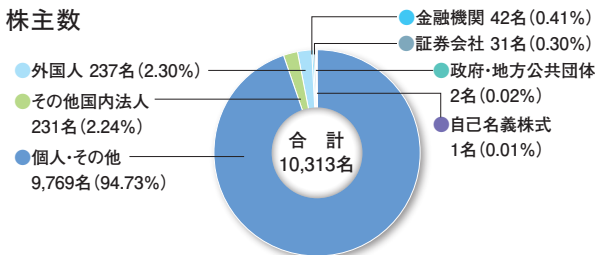
大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
太陽生命保険株式会社	3,559千株	9.61%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,985	8.06
日本生命保険相互会社	1,970	5.32
椿本チエイン持株共栄会	1,495	4.04
株式会社三井住友銀行	1,406	3.80
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,191	3.21
椿本興業株式会社	1,158	3.13
三井住友信託銀行株式会社	849	2.29
株式会社三菱UFJ銀行	712	1.92
株式会社りそな銀行	667	1.80

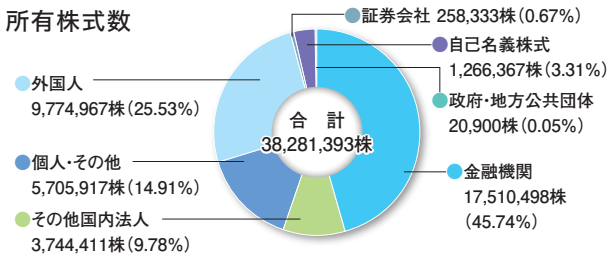
(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 当社は、自己株式1,266,367株を所有しておりますが、上記大株主には含めておりません。
 3. 持株比率は、自己株式1,266,367株を控除して計算しております。

株式の所有者別分布状況

株主数



所有株式数



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) ※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告の方法	当社のホームページに掲載 (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載)

株主の皆様へのお知らせ

各種手続のお申出先

▶ 住所変更、配当金の受け取り方法のご指定、
 単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

区分	お申出先
証券会社でお取引をされている株主さま	株主さまの口座のある証券会社
特別口座(証券会社に口座のない)の株主さま	三井住友信託銀行株式会社 (上記、電話照会先をご参照ください。)

特別口座について

株券電子化の手続(証券会社の預け入れ)が済んでいない株式は、特別口座にて管理されています。特別口座は株式を売買するための取引口座ではありませんので、株式の売却の際は、あらかじめ証券会社の口座へ振り替えておく必要があります。詳細は、三井住友信託銀行株式会社(上記、電話照会先をご参照ください。)にお問い合わせください。

未払配当金の支払について

三井住友信託銀行株式会社(上記、電話照会先をご参照ください。)にお問い合わせください。